みなさんと議会を結ぶ

西和賀町 議会だより

No.42
平成28年4月25日号
発行・岩手県西和賀町議会

3月定例会（3月4日～18日）

主な内容

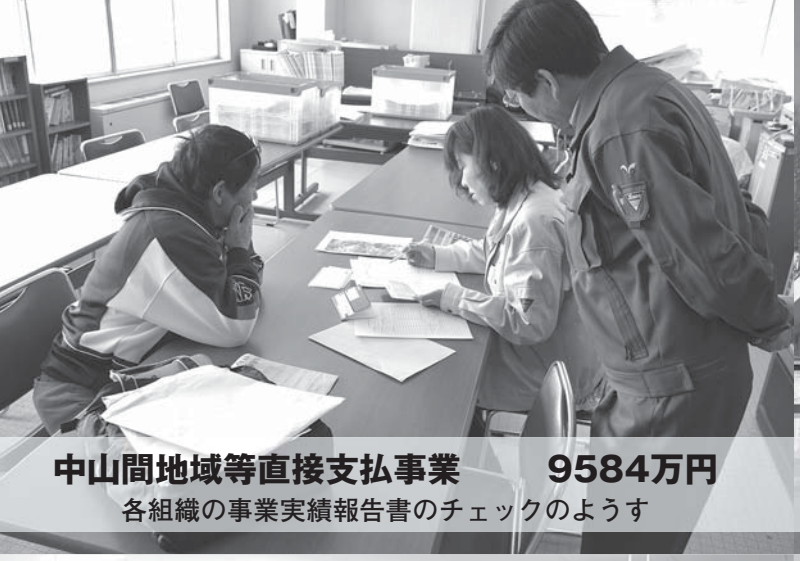
・平成28年度予算の可決……2P
・一般質問……11P
・議会だよりが岩手県広報コンクールで特選に…19P

夢をつかめ!! 夢にしわがっ児 Vol.28

西和賀高校卓球部

目指せ!!県大会ベスト16

春休み期間も、時間を調整し、分刻みで多種多様な練習メニューをこなしています。
（写真は3月31日の練習のようす）



中山間地域等直接支払事業　9584万円
各組織の事業実績報告書のチェックのようす

西和賀消防署整備事業　119万円
設計計画が予定されている西和賀消防署

西和賀高校魅力化支援事業　1039万円
真剣に授業を受ける西和賀高校の生徒

町営住宅改善事業（湯田住宅5戸）　5665万円
改修が予定されている湯田地区の町営住宅

上の写真は、28年度事業の主なものを抜き出しています。

3月定例会主な話題

の可決

第7回3月定例会は、3月4日から3月18日まで沢内庁舎議場で開催し、平成28年度予算をはじめ条例20件、補正予算8件、同意15件など61案件を審議し、原案のとおり可決されました。

議長を除く議員11人で組織された予算審査特別委員会は、5日間にわたり慎重かつ精力的に予算の審査を行いました。

28年度予算の中身

平成28年度の予算額は、一般会計が63億7600万円となり、町立西和賀さわうち病院事業会計を除く7特別会計の合計予算額は53億8658万円、町立西和賀さわうち病院事業会計における収益的収支の予算額は9億9185万円、資本的収支の予算額は1億3268万円で、町の総予算額は128億8711万円となり、昨年度に比較すると7億8346万円が増額されました。

審査の中身と結果

審査では、行政が出した見積りに対し、議会が住民代表としてその使い道に誤りがないかなどに重点を置き、予算説明書の確認と併せて関係課長らの説明を求めながら進めました。

定例会の最終日である3月18日には、児玉正彦委員長から委員会としてすべて原案のとおり採択すべきと報告があり、本会議での採決の結果、原案のとおり可決されました。

（関連ページ　3から5ページ、7から8ページ）

おもてなし環境整備事業　1027万円
町内の温泉館に整備されたWi-Fiルーター

地域おこし協力隊招へい事業　3187万円
カタクリガイド講習会に参加する地域おこし協力隊

いわて国体室内雪合戦競技開催事業 116万円
昨年開催された室内雪合戦大会の開会式ようす

市町村歯科保健推進事業　11万円
町内の歯科医師と打ち合わせをする保健師

全町民一丸となって取りくむ
平成28年度予算

会計区分		平成28年度予算額	平成27年度予算額	前年度との比較	増減率
一般会計		63億7600万円	62億7000万円	1億600万円	1.7%
特別会計	国民健康保険特別会計	8億6840万円	8億9129万円	△2289万円	△2.5%
	後期高齢者医療特別会計	7967万円	8162万円	△195万円	△2.4%
	介護保険特別会計	11億4794万円	11億1035万円	3759万円	3.4%
	簡易水道事業特別会計	27億4663万円	22億136万円	5億4527万円	24.8%
	下水道事業特別会計	4億414万円	4億987万円	△573万円	△1.4%
	農業集落排水事業特別会計	5019万円	4996万円	23万円	0.5%
	温泉事業特別会計	8961万円	9176万円	△215万円	△2.3%
病院事業会計	収益的収支（支出）	9億9185万円	9億6283万円	2902万円	3.0%
	資本的収支（支出）	1億3268万円	3461万円	9807万円	283.4%
合計		128億8711万円	121億365万円	7億8346万円	6.4%

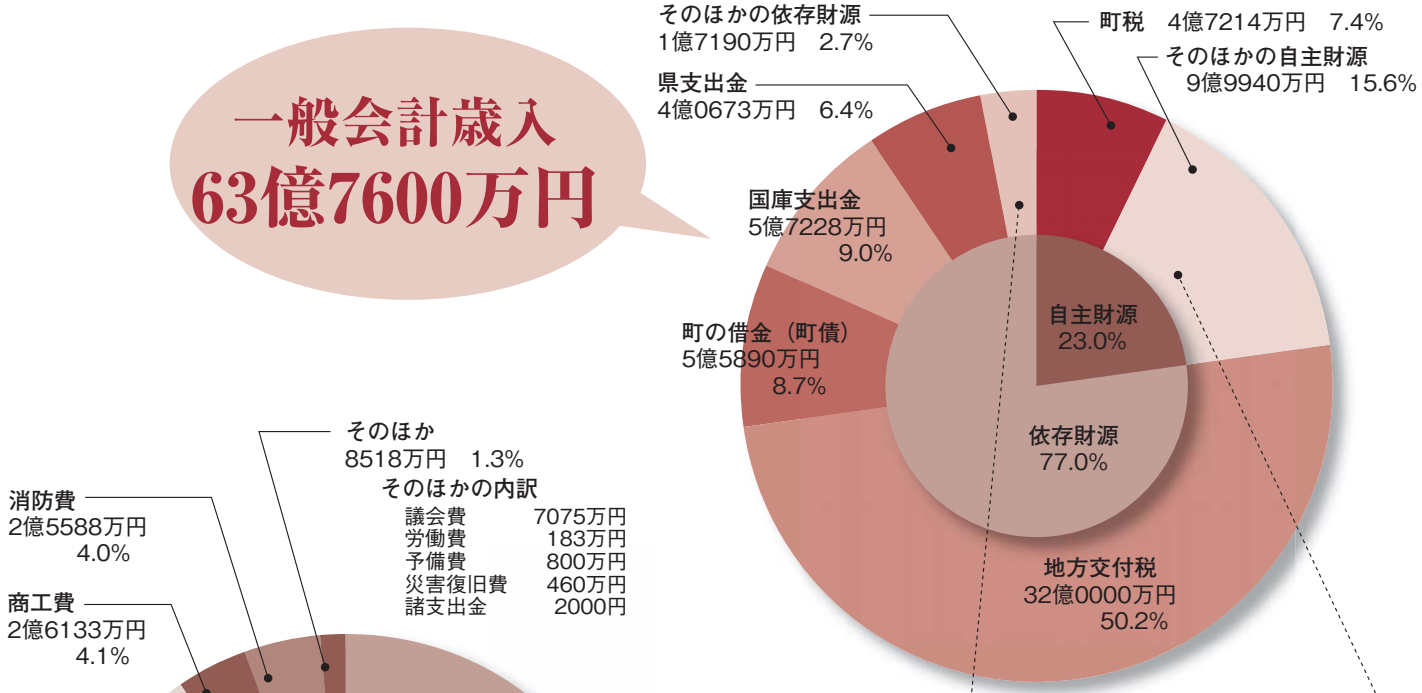
※△はマイナスを表します。
※表中の金額は、万円未満を切り捨てていますので合計が一致しない場合があります。
※病院事業会計は、民間事業者などと同様の複式簿記会計を採用していますが便宜上他会計と同様に表示しています。

平成28年度一般会計予算のあらまし

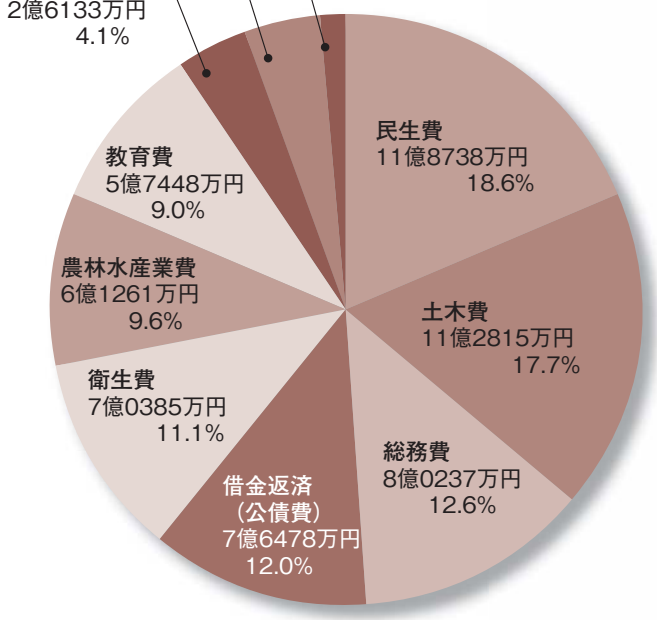
議長を除き11人で組織した予算審査特別委員会は５日間に渡り、精力的かつ慎重に厳しい目で審査を行いました。その結果、３月18日の本会議における予算審査特別委員会委員長報告で、児玉正彦委員長から「採択すべき」との報告が出され、原案のとおり可決されました。

（予算額に関し表・グラフ・文中の数字は、端数処理の関係から合計が一致しない場合があります）

一般会計歳入 63億7600万円



一般会計目的別歳出 63億7600万円



【予算のあらまし】

平成28年度の一般会計予算は総額63億7600万円で、昨年度と比較し1億600万円の増（1・7％）となっています。

歳入では、町税が8６６万円の減（▲1・8％）、地方交付税が国勢調査に基づく人口を考慮した積算により2億3000万円の減（▲6・7％）となり、それらの財源を補うための財政調整基金からの取崩額が4億4952万円と大幅な増となっています。

歳出では、28年度から西和賀消防署の新築に向けた協議が予定されているほか、簡易水道の統合整備にかかる町の多額の町債など、厳しい財政状況になると見込まれます。

【財政状況】

支出の節減を進めた結果、合併当初から財政状況を改善させることができましたが、町の主要な財源である普通交付税は国勢調査に基づく大幅な人口減少と町村合併から10年が経過し、優遇措置の縮減が始まり、11年目から減少されていくことになります。

予算審査特別委員長の報告

児玉正彦特別委員長

①西和賀消防署整備事業
建設検討委員会で十分に意見を出し合い、また消防本部との協議も重ねながら一日も早い整備を望みます。

②地域おこし協力隊招へい事業
地域おこし協力隊員が安心して地域おこしに取り組めるよう今後の対応を望みます。

③固定資産（家屋）全棟調査事業
平成25年度に着手した実地調査も最終年度を迎えることから、調査を終えた際には、課税台帳の整備を行い、これまで以上に公平適正な課税に結び付けるよう望みます。

④防犯灯（街路灯）LED照明導入事業
防犯灯をLEDにリニューアルすることで、CO2の削減、電気料の節減はもとより、町のイメージアップにもつながることから早期のリニューアルを期待します。

⑤保健・医療・福祉の連携
組織体系を見直し、保健活動、介護予防を一体的に取り組む健康福祉課を新設することから、その新しい組織体系の中で、保健師の活動が今まで以上に機能することを望みます。

⑥健康づくりと介護の予防
各種の予防活動は、町民の「意識改革」を推進する組み立てになっていますが、その場合、町民の「行動変容」が最も重要になると考えるので、このことを常に念頭に置き各種の事業に当たることを望みます。

⑦「材」「木」を動かすこと
林業や地域を取り巻く環境の確かな把握、担い手の健全育成、生産基盤の整備、そして活用を促すための森林所有者に対する働きかけを進めることを望みます。

⑧農家の意欲を掻き立てるような地域政策
多面的機能支払、中山間地域等直接支払の両事業の予算総額は2億2000万円程であり、職員人件費分を除くと農業予算のほぼ半分を占める最重要事業と考えられます。これらの予算が有効に活用され、農家の意欲を掻き立てるような地域政策を望みます。

⑨プレミアム商品券発行事業費補助金
一般財源だけで行うこの事業を通し、少しでも町内の商工業者の活性化に結び付くことを期待します。

⑩農業委員会委員
新しく選任される委員各位には、本町における担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進等において、強力なリーダーシップを期待します。

⑪住みよい環境と安全な暮らし
建設課の所管する事業は、どの事業も住民生活に密着し、どれ一つとしてなおざりすることはできないことから、町民の住みよい環境と安全な暮らしに寄与するべく、万全を期しての対応を望みます。

⑫西和賀高校魅力化支援事業
町内や近隣市町の中学生、各中学校への周知活動を実施し、今後も町、教育委員会、魅力化推進委員会が連携を図りながら、存続に向けて取り組むことを望みます。

⑬文化創造館舞台機構改修事業
町の教育文化の中心施設となる文化創造館が、一刻も早く安全に稼動し、町民に喜ばれる施設運営が行われることを期待します。

⑭シームレス医療の推進
高齢化率が県内で一番高い本町では、保健・医療・介護のニーズは今後益々高まることが予想されます。町民の命を預かる拠点としての役割が停滞することが許されないと思うので、今後も行政と病院が一体となり取り組むことを望みます。

町当局は、予算審査特別委員会における各委員からの意見を真摯に受け止め、無駄のない行政運営に努められるよう要望し、予算審査特別委員長の報告とします。

賛成 一般会計討論

髙橋　和子　議員

人口減少などから、交付税の減額が現実となり、町の財政がより厳しくなる。併せて、将来を担う若い世代の減少が著しい状況にあり、さらに65歳以上の高齢者が845％という実態である。

町は平成28年から32年にかけ西和賀過疎地域自立促進計画に沿って取り組もうとしており、そのために役場の大幅な組織替えをし、実効性のある取り組みをしようとしている。

大事なことは、国政が不十分な対応をしているとき、住民を守るのは市町村であり、町は町民にとって、命や暮らしを守るための最後の砦となる。

そういう観点から、今予算の審議を振り返れば、住民の実態や声に合わせながら実施しようと努力していることが見える。住民と行政とがお互いに協力し、支え合いながら、西和賀町の行政が進められるよう希望し賛成の討論とする。

※反対の討論はありませんでした。

賛成 病院事業会計討論

髙橋　和子　議員

赤字でスタートすることは残念だが、引き続き経営努力する旨当局からの発言があった。

医師の不足は収入に対しても直結しており、支援があっても、常勤医が足りないことは様々な面でマイナスになるので、一日も早い着任を望む。

また、町立病院が各町内診療所と連携を取ることは大事だ。民間の先生方が、それぞれの住民とつながり、信頼を受け医療を行っている。町立病院は横のつながりを持ち、支え合うように取り組んでほしい。

医療の役割は、病気を治すことだけではなく、健康な町民を作り出していくというところにある。そのような理想的な医療の役割へシフトしていけるように望む。住民と共に歩む病院として今後も取り組んでいただくことを希望し、討論とする。

※反対の討論はありませんでした。

町長行政報告

西和賀さわうち病院の人事 ほか

●山下晋平内科医長、引き続き西和賀さわうち病院に

西和賀さわうち病院の2人の常勤医の1人である山下晋平内科医長は、本町の要望に基づき、岩手県から派遣を受けている医師です。

平成28年度において、かねてより岩手県に対し同様の派遣要請をしてきたところですが、このたび山下内科医長を継続派遣する旨の通知がありました。

これにより、ひとまずは常勤医2名体制を確保して新年度のスタートを切れることになりました。

このほか、応援診療の医師に一部異動がありますが、概ね平成27年度と同様の診療体制を敷くことができる見込みです。

●村田純子副院長兼総括看護師長の退任

副院長兼総括看護師長として3年間に渡って沢内病院、西和賀さわうち病院の体制づくりや業務改革に尽力いただいた村田純子さんが、3月末をもって退任されることになりました。

●富士大学との包括連携に関する協定の締結

地方創生のまちづくりを進めていくためには、産・学・官をはじめ多様な分野と連携しながら取り組んでいかなければならないと思っています。

今般、花巻市にある富士大学より連携の話があり、地域経済社会の持続的発展を図ることを目的に、学術、文化、教育、人材育成の各分野にかかる包括的連携、協力に関する協定を締結することとし、去る3月1日、富士大学で、調印式を行いました。

具体的には、

①地域創生を担う就学者の支援と人材育成

②産業振興に向けて産・学・官・民連携の推進

③循環型環境重視の社会づくりに向けての諸課題への対応

④高齢社会、福祉社会の質向上に向けた諸課題への対応等です。

協定の期間は平成30年3月末までで、異議が無ければ3年間を期限として、自動継続することにしています。

具体的なことはこれからですが、この協定により、人材育成や地域諸課題の取り組みに弾みがつくものと期待をしています。

第7回3月定例会会期日程

（3月4日～3月18日まで）

月　日	内　容	関連ページ
4日（金）	・諸報告	6ページ
	・町長施政方針演述 ・教育委員長施政方針演述	2～5ページ
	・平成28年度予算議案上程9件 予算審査特別委員会設置	7～10ページ
	・議案審議 条例20件	7～10ページ
7日（月）	・議案審議 補正予算8件 そのほか5件	7～10ページ
8日（火）	・一般質問 淀川豊議員 刈田敏議員 佐々木孝道議員	11～16ページ
9日（水）	・一般質問 髙橋和子議員 髙橋輝彦議員	11～16ページ
10日（木）	・予算審査特別委員会	2～5ページ
14日（月）から16日（水）	・予算審査特別委員会	2～5ページ
18日（金）	・予算審査特別委員長報告	5ページ
	・28年度予算表決 ・同意15件 ・請願・陳情　新規2件 ・発議2件	8～10ページ

①議会の回数は、定例会、臨時会も含めた回数で、議員の任期（4年間）での累計開催数を表します。
②11日、17日に常任委員会を行いました。

行政報告とは、町長や教育委員長などが町の大きな話題を議会に報告することです。
報告なので、議員は行政報告に対し質問することはできません。

私たちのくだした判断　第７回３月定例会・議員ごとの賛否状況

※議案順に掲載しています。審議順ではありません。

番　　号		議　案　名（一部省略しています）	関連ページ	淀川　豊	高橋　雅一	柳沢　安雄	高橋　和子	高橋　輝彦	佐々木孝道	高橋　到	児玉　正彦	刈田　敏	早川　久衛	柿澤　繁俊	深澤　重勝
予算の認定	34号	28年度一般会計歳入歳出予算	2～5ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	35号	28年度国民健康保険特別会計歳入歳出予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	36号	28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	37号	28年度介護保険特別会計歳入歳出予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	38号	28年度簡易水道事業特別会計歳入歳出予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	39号	28年度下水道事業特別会計歳入歳出予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	40号	28年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出予算	8ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	41号	28年度温泉事業特別会計歳入歳出予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	42号	28年度西和賀さわうち病院事業会計歳入歳出予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
条例	1号	暴力団排除条例	8～9ページ	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
	2号	行政不服審査会条例		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
	3号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
	4号	個人情報保護条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
	5号	情報公開条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
	6号	手数料条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
	7号	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
	8号	人事行政の運営の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
	9号	一般職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
	10号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	-
	11号	旧西和賀町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	-
	12号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	●	欠	○	○	○	○	●	○	-
	13号	消防団条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
	14号	一般職の職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
	15号	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
	16号	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
	17号	職員定数条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
	18号	課設置条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
	19号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
	20号	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
認定	21号	町道の路線廃止	9ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	22号	町道の路線認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
その他	23号	過疎地域自立促進計画を定めること	10ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	24号	辺地に係る公共的施設の総合計画の変更（下前辺地）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	25号	東京電力株式会社原子力発電所事故に係る損害賠償のあっせん		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
補正予算	26号	27年度一般会計補正予算	8ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	27号	27年度国民健康保険特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	28号	27年度後期高齢者医療特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	29号	27年度介護保険特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	30号	27年度簡易水道事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	31号	27年度下水道事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	32号	27年度温泉事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	33号	27年度西和賀さわうち病院事業会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意	1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	10ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	2号~15号	農業委員会の委員の任命に関し同意を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願・陳情	8号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談のできる窓口などの設置を求める陳情		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	9号	憲法違反の安全保障関連２法（国際平和支援法、平和安全法制整備法）の廃止を求める請願		○	●	○	○	○	○	●	○	●	●	○	-
発議	1号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談のできる窓口などの設置を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	2号	安全保障関連法の廃止を求める意見書		○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	-

表の見方：「○」は賛成、「●」は反対。採決の際の棄権は「棄」、欠席は「欠」、遅刻は「遅」、早退は「早」を表し、「－」は採決に加わらなかったことを表します。また、深澤議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。

3月定例会

このように決まりました

審議の中身

平成28年度予算の認定
西和賀町暴力団排除条例の制定

27年度補正予算

表のとおり平成27年度予算を補正し、全て原案のとおり可決しました。

28年度の予算

額や内容など詳しくは2～6ページをご覧ください。

- 一般会計 **可決▼全員賛成**
- 国民健康保険特別会計 **可決▼全員賛成**
- 後期高齢者医療特別会計 **可決▼全員賛成**
- 介護保険特別会計 **可決▼全員賛成**
- 簡易水道特別会計 **可決▼全員賛成**
- 下水道特別会計 **可決▼全員賛成**
- 農業集落排水特別会計 **可決▼全員賛成**
- 温泉事業特別会計 **可決▼全員賛成**
- さわうち病院事業会計 **可決▼全員賛成**

新条例の制定

- 暴力団排除条例 **可決▼全員賛成**

【内容】暴力団排除に関する基本理念を定め、町、町民や事業者の責務を定めたほか、その為に講ずる措置や施策を定めたものです。

- 行政不服審査会条例 **可決▼全員賛成**

【内容】町が、町民などから行政不服審査法に基づく不服申し立てをされたときに、立ち上げる審査会の内容を定めたものです。

- 行政不服審査法施行に伴う関係条例の整理に関する条例 **可決▼全員賛成**

【内容】行政不服審査法が全部改正されたことから、関係する町の条例の文言整理をすることを定めた条例です。

条例の一部改正

- 個人情報保護条例の一部改正 **可決▼全員賛成**

【内容】行政不服審査法の改正に伴い、個人情報保護条例の文言整理をしたものです。

- 手数料条例の一部改正 **可決▼全員賛成**

【内容】行政不服審査法にかかる審理員に提出された書類の写しや主張書面の手数料を定めたものです。

- 固定資産評価委員会条例の一部改正 **可決▼全員賛成**

【内容】行政不服審査法

【表】 本定例会での平成27年度予算補正

項　目	現在の予算額	今回補正した額	補正後の予算額	主な内容
一　般　会　計	67億4381万円	10億6359万円	78億741万円	臨時福祉給付金 6242万円、ふるさと納税推奨事業 4564万円ほか
国民健康保険会計	10億2937万円	473万円	10億2464万円	介護納付金 △897万円、保険財政安定化事業拠出金 △454万円ほか
後期高齢者医療会計	8273万円	△11万円	8262万円	後期高齢者医療保険料負担金 △11万円
介護保険会計(保険事業)	12億114万円	974万円	12億1089万円	居宅介護サービス給付費 600万円 特定入所者介護サービス費 500万円ほか
簡　易　水　道　会　計	19億9471万円	△8611万円	19億860万円	西和賀簡易水道施設統合整備事業 △7270万円ほか
下　水　道　会　計	4億1176万円	151万円	4億1025万円	公共下水道施設管理費 △130万円ほか
温　泉　事　業　会　計	9463万円	280万円	9743万円	修繕料 276万円ほか
病院事業(収益的収支)	9億8054万円	970万円	9億9025万円	給食業務委託料 330万円、医療廃棄物処理業務委託料 300万円ほか
病院事業(資本的収支)	1億3541万円	△72万円	1億3469万円	医療機器等整備事業 △61万円ほか

※表中の金額は、万円未満を切り捨てていますので合計が一致しない場合があります。
※沢内病院会計は、民間などで採用している複式簿記会計を採用していますが便宜上他会計と同様に表示しています。

の改正に伴い、関連する条文の文言を改正したものです。

●人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正

可決 ▼全員賛成

【内容】地方公務員法等の改正により、文言を改正したものです。

●一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

可決 ▼全員賛成

【内容】人事院の勧告や地方公務員法の一部改正により、一般職の職員の給与等を改正したものです。

●特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正

可決 ▼賛成9・反対1

【内容】特別職の報酬の見直しを行ったことから、報酬等を改正したものです。

●旧教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正

可決 ▼賛成9・反対1

【内容】教育長の報酬の見直しを行ったことから、報酬等を改正したものです。

●議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

可決 ▼賛成8・反対2

【内容】議会議員の報酬の見直しを行ったことから、報酬等を改正したものです。

●消防団条例の一部改正

可決 ▼全員賛成

【内容】消防団の報酬の見直しを行ったことから、報酬等を改正したものです。

●一般職の職員等の旅費に関する条例の一部改正

可決 ▼全員賛成

●職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正

可決 ▼全員賛成

【内容】地方公務員法の一部改正に伴い、文言の整理をしたものです。

●職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正

可決 ▼全員賛成

【内容】地方公務員法の一部改正に伴い、降給にかかる規定や文言の整理をしたものです。

●職員定数条例の一部改正

可決 ▼全員賛成

【内容】町職員の定数の見直しを行い、次の人数にしたものです。

・町長部局　123人→96人
・町立西和賀さわうち病院44人→57人
・教育委員会部局　30人→42人

●課設置条例の一部改正

可決 ▼全員賛成

【内容】より効果的・効率的な行政運営をするために、所要の文言整理をしたものです。

新設・変更した課（（　）の中は旧課名）

・企画課（企画推進課）
・ふるさと振興課（新設）
・税務課（税務会計課）
・会計課（税務会計課）
・健康福祉課（保健福祉課・医療保険室）

●指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正

可決 ▼全員賛成

【内容】地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律の一部が施行されたことから、関係する文言の改正を行ったものです。

●指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正

可決 ▼全員賛成

【内容】地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律の一部が施行されたことから、関係する文言の改正を行ったものです。

町道の廃止と認定

●町道の廃止

可決 ▼全員賛成

太田地内にある次の路線を廃止しました。

・水無線
・中堰線

●町道の認定

可決 ▼全員賛成

太田地内にある次の路線を認定しました。

・巾支線
・中堰線

【なぜ、廃止してから認定するの？】

町道の起点などが変わったときは、いったんその路線を廃止し、改めて認定するという方法がとられます。

【特別職とは】町長、副町長、監査委員、農業委員、選挙管理委員などを指します。

その他

・過疎地域自立促進計画の制定

可決 ▼全員賛成

【内容】国で定める過疎地域自立促進特別措置法の有効期限が延長されたことから、平成32年度までの計画を定めたものです。

・下前辺地総合計画

可決 ▼全員賛成

既存の計画に、町道下前小繋沢線の道路改良と防雪柵の設置を追加しました。追加事業費は1億140万円です。

・東京電力㈱原子力発電所事故に係る損害賠償のあっせんの申し立て

可決 ▼全員賛成

【内容】平成23年3月11日に発生した東京電力株式会社原子力発電所事故の対策に要した費用の損害賠償を東京電力㈱に求めましたが応じなかったため、原子力損害賠償紛争解決センターに申し立てをするものです。

●人権擁護委員候補者の推薦

同意 ▼全員賛成

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱され、人権の相談を受け、問題解決の手助けや人権の考えを広める活動をします。委員は、法律により議会の同意が必要で、次の者を候補者として再薦することに同意しました。

・和泉昭さん（鍵飯・66歳）

●農業委員会の委員の任命

同意 ▼全員賛成

農業委員会法の改正により、農業委員の任命は公選制ではなく、議会の同意を得たのちに、町長が任命することとなり、次の者を新たな候補者として推薦することに同意しました。

・髙橋徳幸さん（小繋沢・70歳）
・籠山　實さん（中村・67歳）
・佐々木一身さん（前郷・61歳）
・大堰幸一さん（貝沢・60歳）
・菅野富子さん（貝沢・52歳）
・加藤恵子さん（新町・58歳）
・有馬正幸さん（新町・62歳）
・髙橋昭貴さん（太田・63歳）
・柿澤伸吾さん（鍵飯・38歳）
・吉田正志さん（川舟・65歳）
・髙橋正受さん（猿橋・70歳）
・佐々木静夫さん（左草・65歳）
・髙橋哲雄さん（清水ヶ野・75歳）
・髙橋繁廣さん（湯川・59歳）

みなさんの願い

●請願

・憲法違反の安全保障関連2法（国際平和支援法、平和安全法制整備法）の廃止を求める請願

採択 ▼賛成7・反対4

【紹介議員】髙橋和子議員・児玉正彦議員・淀川豊議員

【提出者】岩手県母親大会連絡会西和賀　代表者　小野寺ゆり子さん、新日本婦人の会湯田班　代表　高橋明子さん

【内容】安全保障関連法の廃止を求める請願。

賛成討論

児玉正彦議員

憲法9条は、350万人の戦死者を出し、2度の原爆を投下され、地獄を経験した日本人だからこその平和主義が反映された条文と思う。

私も戦災遺児であり、この70年間、戦争を憎んできた人間の一人だが、誰もが悪いというものではなく、国民一人ひとりの責任で起きた事件だったことを含めて、その悲惨さを伝えたい思いで生きてきた人間だ。70年の歳月が戦争の痛みを薄れさせたことに悲しみを感じる。今後も生ある限り訴えていきたい。

今の安全保障関連2法案は、どう考えても基本的な法をなし崩しにすることになりかねない危険な法案だ。憲法の改正は、国民の投票によって行うべきだ。

●陳情

・軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談のできる窓口などの設置を求める陳情

採択 ▼全員賛成

【提出者】軽度外傷性脳損傷仲間の会　代表　藤本久美子さん

【内容】軽度外傷性脳損傷と脳しんとうへの対応で教育機関での周知徹底や対策を図ることなどを要請する意見書を国や政府等関係機関に提出してほしいという陳情。

議員発議

●意見書の提出

・軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談のできる窓口などの設置を求める意見書

可決 ▼全員賛成

・安全保障関連法の廃止を求める意見書

可決 ▼賛成8・反対3

請願や陳情で採択された案件は関係省庁や機関に西和賀町議会からの意見として意見書を提出しました。

○討論とは、各議員が議案に対して賛成、反対の意見を表明することです。
○請願には議員の紹介（署名）が必要です。議員の紹介のないものは陳情として取り扱います。

事前通告書や会議録は、その都度町ホームページに公開しています
http://www.town.nishiwaga.lg.jp/

ここが聞きたい 一般質問

3月定例会では5人が一般質問しました

淀川　豊 議員　@Nishiwagagikai

- いわて国体開催に向けての対応
- 総合戦略の推進
- 庁内組織の改編
- 福祉、医療、産業、観光事業
- 西和賀高校の魅力化

一般質問を終えて

重要な新年度のスタートです

刈田　敏 議員　@Nishiwagagikai

- 雪合戦の活用
- 高齢者夫婦や一人暮らし世帯の除雪

一般質問を終えて

住民が楽しめるイベントを目指して欲しいのだが…

佐々木孝道 議員　@Nishiwagagikai

- 自然エネルギーの定着
- 西和賀町創生総合戦略
- 西和賀消防署の整備
- ひとり暮らしを含めた高齢者に対しての除雪対策

一般質問を終えて

町民の生命・財産を守る新西和賀消防署に期待

髙橋　和子 議員　@Nishiwagagikai

- 地域で高齢者を支えるまちづくり
- 西和賀さわうち病院が行うべき地域医療
- 子ども、子育て支援事業計画
- 男女共同参画

一般質問を終えて

若者や子供達を増やすことは町の第一の仕事。本気で

髙橋　輝彦 議員　@Nishiwagagikai

- まち・ひと・しごと創生人口ビジョンと総合戦略
- 西和賀高校存続対策

一般質問を終えて

西高存続なくして、我が町の繁栄なし
西和賀地域総力戦で臨むべし

議会傍聴はどなたでもできます。中座もできますので、時間にしばられることもありません。是非、生の議会をお聞きください。

◆一般質問とは◆

一般質問は、町が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。

年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

西和賀町議会では、議員が質問できる時間は30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・一問一答方式

質問は、議員と町長が対面し、一つ質問をして一つの回答を得る一問一答方式です。

この方法は、より問題を深められる方法といわれています。

・事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を記した通告書の提出を義務づけています。

・登壇順（質問順）

公平をきすために、通告書の届出順にくじ引きをし決定しています。

質問

グループ制の検証と庁内の改編の目的は

総務課長

グループリーダーの役割を明確にするため

平成28年４月１日から業務を始めた「ふるさと振興課」（手前のグループ）
今後の活躍が期待されます

いわて国体開催に向けての心のこもったおもてなし

質問 町長は、国体の開催で、来町してもらうよう心のこもったおもてなしで対応することが大切と感じているとのことだが、具体的に心のこもったおもてなしとはどのようなことか伺う。

観光商工課長 観光協会、商工会、旅館組合、飲食店組合等と共に情報共有を図りながら、訪れていただいた機会に西和賀町に来てよかったという印象を持ってもらい、今後何度も西和賀町を訪れていただけるような対応が大切であると考えている。

庁内の組織改革

質問 ふるさと振興課の職務・役割を伺う。

企画推進課長 人口減少対策と定住対策を推進するために、西和賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業の実施を行っていくことが基本的な取り組みとなる。また、計画推進にあたって、各課との調整を行うことがふるさと振興課の業務となる。

質問 総合戦略の推進で、行政だけでなく町全体の力を結集できるような体制の構築を考えているようだが、具体的にその構想を伺う。

町長 人口減少対策と定住対策は、住民主体の取り組みにならない限り、総合戦略の成果も上がらないので、総合戦略推進会議を開催しながら町全体での力を結集できるような体制をつくっていきたい。

質問 保育所の所管を教育委員会に移し、就学前教育としての一貫性を確保するようだが、具体的にはどのようなことで一貫性を確保するのか。

教育長 教育委員会として、一人一人の子供を長い目で育てていくために、小学校就学前と就学後の接続部分が重要であると考え、さまざまな施策を展開してきた。具体的には、小学校に入学したばかりの１年生が集団行動をとれない、授業中に座っていられないなどの小１プロブレムに対応するため、小学校教諭による保育参観や保育士との意見交換も行うジョイントスクール事業や、年長児が就学前に小学校を体験する事業などだ。

　これらの取り組みは、今後もさらに充実を図りつつ実施することとしており、そのためには教育委員会が所管することにより事業の評価や改善がよりスムーズに行われ、効果的なＰＤＣＡサイクルが構築されるという期待している。

淀川　豊 議員

【ＰＤＣＡサイクルとは、Plan（計画を立てる）、Do（実行する）、Check（評価する）、Action（改善する）という４段階を繰り返して業務を改善していくことを言います。】

質問

雪合戦を、観光と人材育成のつなげるべき

町長

オール西和賀で支えていくべきと思う

平成28年１月30日から31日にかけて行われた北日本雪合戦大会

刈田　敏 議員

いわて国体室内雪合戦にかかる整備

質問 **いわて国体のデモンストレーションスポーツである室内雪合戦会場の整備計画について伺う。**

教育長 平成27年８月に会場となる湯田農業者トレーニングセンターのトイレの洋式化とアリーナ床のウレタン塗装を行った。これらに加え、平成28年度予算案では観客用の仮設ベンチ、ＰＲ用の横断幕等の整備を計画している。

質問 **国体終了後の施設の利用計画を伺う。**

教育長 町の雪合戦協会等と連携しながら、継続的に大会を開催するなど、これまで以上に親しんでもらえるよう適切な維持管理に配慮していく。

北日本雪合戦と観光の関わり

質問 **北日本雪合戦大会と観光の関わりと今後の考え方は。**

観光商工課長 今年で22回目の開催となり、参加チームは過去最高の１０８チーム、宿泊客数は８６３人、来客数３０５０人と冬季観光の目玉イベントの一つに成長してきたと考えており、お土産や西和賀の食等にも関心を持って何度も訪れていただくきっかけとして大切にしていかなければと考えている。

質問 **まちおこしとして、大いに活用するべきと考えるが。**

町長 長らく冬の活用をテーマにしながら厳しい状況で来たが、ここで雪あかりや雪合戦という一大イベント事業ができ非常に嬉しく思う。

地域の人材が地域を活性化させる事業を打ち立ててきたことを大きく評価したい。そこから大きな勇気を頂いてみんなで協力し、オール西和賀でこの町のイベントを支えていくべきかと思っている。

高齢者夫婦世帯等の除雪状況

質問 **高齢者夫婦、一人暮らし老人世帯へ町が対応出来ることはどこまでか。**

保健福祉課長 屋根の雪おろしや玄関除雪については、なかなか町が関わる事は難しい。軒下に落ちた部分はスノーバスターズの活動が一番ありがたいと思っている。

質問 **町全体として、何か策を練っていかなければならないと思うが、その辺はどうか。**

町長 民生委員や区長等々の情報交換の場を上手く活用しながら、住みやすい暮らしに対する地域の関わり合いが出来る事を目的に、情報交換をうまく進められるような仕組みづくりを工夫してみたいと思う。

質問

西和賀消防署の建設予定地とその完成はいつか

総務課長

西和賀さわうち病院北側に平成29年着工完了予定

テレビに接続している葛巻町の告知放送（写真：岩手県葛巻町議会提供）

西和賀消防署の整備

質問 町長は、施政方針演述の中で西和賀消防署の整備を話されたが、その完成はいつか。

総務課長 今年の2月19日に消防署建設に係る協議会を設置し、協議を行った結果、建設予定地は西和賀さわうち病院の北側が良いとの答申があった。

この答申に基づき、28年度は基本設計を行い、実施設計まで進めたいと考えている。消防署の規模や機能等は協議会で協議し基本計画に反映させ、この計画に基づき実施計画に持ち込んでいきたいと考えている。

29年度には着工・完了という考え方で取り組んでいきたい。

光ファイバーで情報共有

質問 人口ビジョンにおいて、情報の共有が大事と思うが、町内全域に敷設されている光ファイバーを利用し、テレビ等に接続することによって効率的な情報共有ができると思うがいかがか。

町長 市町村によって置かれている状況が違う。西和賀町では2mの積雪があり、他では想定できないような経費もいろいろかかっているような状況の中で、どういう事業を選択するかということになる。

いろいろな視野の中でのこれからの選択ということで、数ある事業の中からの選択のひとつというように思う。

小水力発電の啓蒙普及

質問 町のエネルギービジョン策定報告書の中に、FIT制度の有限性や優遇期間を考慮し、小水力発電や温泉発電などの実現を図ると書いている。温泉は行っているが、そこに小水力発電も考える余地があるのではないか。

企画推進課長 町では、平成24年度に西和賀土地改良区が管理する西部幹線用水路で小水力発電の調査を実施したが、その段階では不採算になるという結果が出ている。

また、本年度は専門家による小水力発電の可能性調査も実施している。地図上から地形を見て、現場近くでの目視による監視だけであったが、何箇所か有望と思われる地点はあった。

専門的な調査をするかどうかは未定だ。

水が豊富な地域ではあるが、懸念される材料も出てきている。いずれにしても、そういう調査を重ねながら具体化できればというように思っている。

佐々木孝道 議員

【FIT制度とは、太陽光や風力などの再生可能エネルギーで発電された電気を一定期間、固定価格で買い取る制度で、固定価格買取制度とも呼ばれています。】

質問

高齢者の不安に対する地域活動へ町として支援を

野々宿で行われている公民館サロン
このような事業が各行政区で行われるのが理想です

高齢者を支える活動

質問 高齢者が日常生活で不安に思うことは、買い物・通院・雪かきなどの3つの項目が多いようだ。それを支援する地域活動に町からの援助・支援は。

医療保険室長 介護保険事業で対応しようとすると保険料と自己負担が伴う。サービスの拡充を求めるのであれば、仕組みづくりの議論をする必要があると考えている。

地域の状況を十分調製し、どう暮らしたいかを把握し、既存のサービスを評価しながら住民と一緒に構築していくべきと考えている。

質問 ミニデイサービスのような取り組みをしているが、地域に対し行政としてどんな支援がされているのか。

医療保険室長 現在、通所型サービス事業所に委託している公民館サロン等があり、町内11行政区で月1回開催している。

受託事業所は社会福祉協議会・やすらぎ会・光寿会・新田郷コミュニティー雪つばきの里で、これには各法人の人的体制があっての支援でありこれ以上実施地区を増やすのは体制的に困難とも言われている。

こういった状況から、住民主体によるデイサービスへの移行支援が想定される。

この委託事業は1開催1万8000円の委託費と特定高齢者1人の参加につき2600円を加算し、実施している。必要な時はボランティアや保健師の支援も行っている。

また、地域独自のサロン活動としては湯田・白木野・川舟区があり、保健福祉課からの出前講座という形で保健師による支援をしている。

質問 高齢者の共同住宅など地域で取り組む活動に対する支援は。

医療保険室長 計画に載せて、できるところから始めていかなければならないとは思っている。現状では介護保険による住宅改修や町や県の住まいづくり推進事業を使うなど、現行のサービスで支援していきながら将来を考えていければと受け止めている。

西和賀さわうち病院が行うべき地域医療

質問 高齢化が進む本町で、町立病院が目指す地域医療はどうあるべきか。

町長 町民の健康を守っていくため、予防と介護にも積極的に関与していく必要がある。北村院長が唱えるシームレス医療の展開だと認識している。

また、地域で開業している診療所の先生方との連携や機能分担を図る体制を進めていく。

医療保健室長

地域により状況が違う。既存の制度を活用しつつ検討する

髙橋　和子 議員

【シームレス医療とは保健、医療、福祉をつなぎ目なく結ぶ医療のことです。】

質問

総合戦略、西和賀高校存続のための取り組みは

課長同士の横連携、情報の交換・共有そして西和賀地域総力戦で

平成26年に行われた女性職員によるプロジェクトチームのグループワーク

まち・ひと・しごと総合戦略

質問 当町は、企業誘致やビジネスマッチングの支援より、人材マッチング、求人支援を強化優先するべきと思うがどうか。

観光商工課長 雇用側と働き手の雇用促進情報の展開をするものであり、雇用要望調査、雇用情報の一元化による情報紙作成と配布を実施し、人材マッチングの推進に努めていく。

質問 国の掲げている目標では「若者が住みやすいまちづくり」とあるが、町はあえて女性に特化した事業を行うということなのか。

企画推進課長 平成26年度に女性職員によるプロジェクトチームを設置し、検討してもらった。女性が住みやすい町にするということが若い人たちを呼び込むことにつながるのではないかという提言をもらっている。

総合戦略に掲げる基本目標も、このチームの意見を反映させ、町づくりに取り組むことを意識したものであり、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えるという形になっている。若者の定住に向けた取り組みを進めていきたいと思っている。

質問 住む場所を確保しない限り定住人口を増やすのは不可能だ。現在、空き家データバンク、移住体験住宅、住宅改修助成制度により整備された住宅はあるか。また、この先の見込みはあるか。

企画推進課長 町全体で139軒の空き家があるうち、独自調査の結果、外観が良く上下水道もしっかりしている空き家は、31軒というふうに考えている。そのうち空き家バンクに登録があるのは2件程度だ。

今後、空き家の所有者に、具体的な計画を示しながら、こちらからも積極的なアプローチをして、有効活用につなげていきたいと思う。

西和賀高校の存続対策

質問 西和賀高校の現在の魅力が失われれば廃校に繋がると考える。このような状況になった時に人口ビジョンや総合戦略への影響はどのようになると考えるか。

町長 西和賀高校の存廃は、町の存廃に繋がると思う。

西和賀高校の存続問題は、総合戦略にくみせず、単独で取り組まなければならない大きな課題であるという覚悟で取り組んでいきたい。

髙橋　輝彦 議員

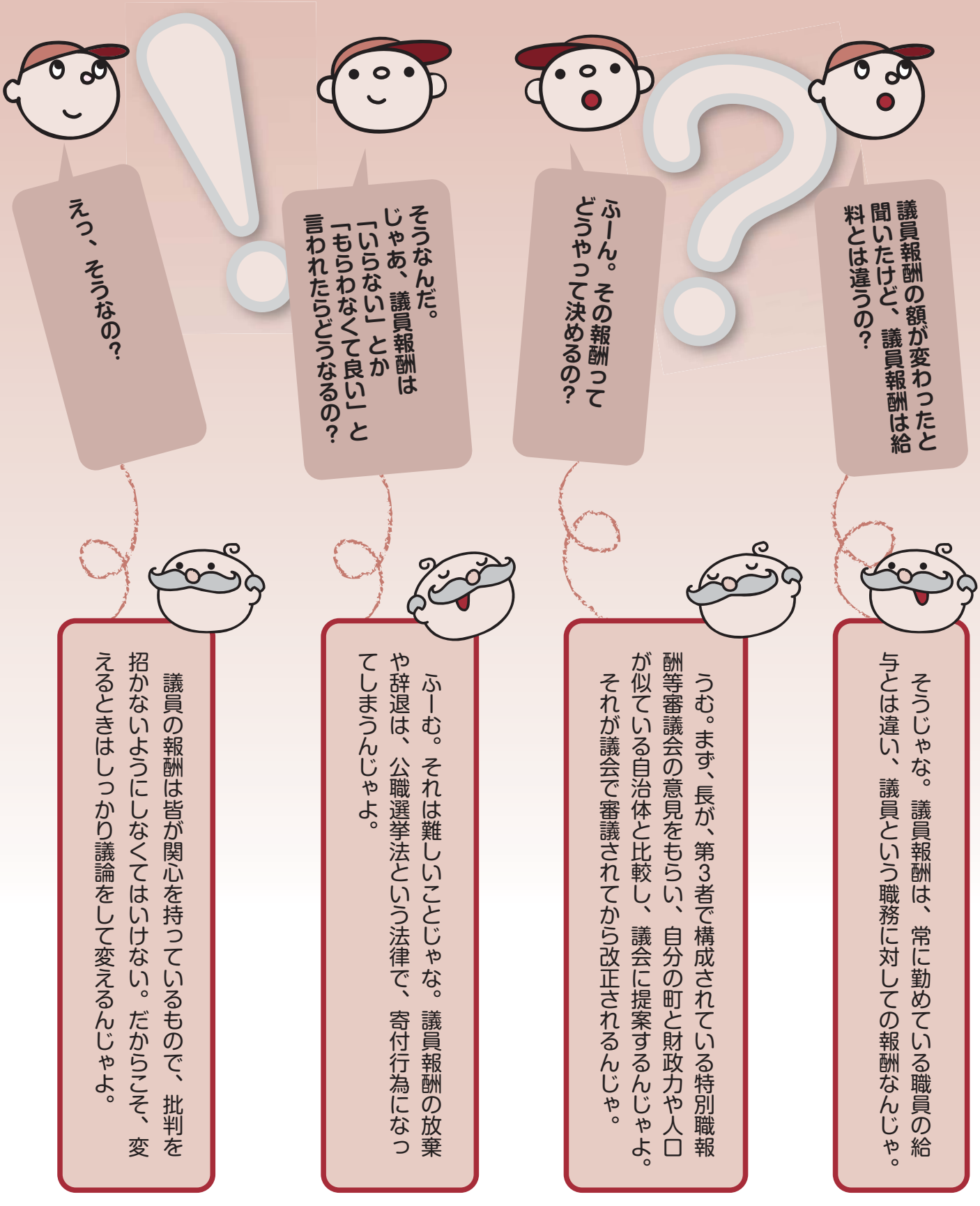
知ってるようで知らない 議会deお勉強!?㉑

今回は

議員報酬

についてじゃ

●議会の仕組みや難しい用語をできるだけやさしく説明していきます。



議会行動

平成27年12月定例会以降の議会公式行動

2月21日 湯田スキー場・志賀来スキー場開き「町内」 議長
第5回議会定例会総括会議「議員会議室」 議員10人、事務局
湯川温泉きのこまつり反省会「町内」 議長
24日 花巻大曲線花巻・沢内間整備促進期成同盟会県要望「盛岡市」 議長
1月8日 岩手県町村議会議長会新議員研修会「盛岡市」 議員4人
9日 学校保健研究集会「町内」 議長
交通指導隊・防犯隊合同出動式「町内」 議長
10日 西和賀町消防出初式「町内」 議長ほか
消防団出初式第一分団激励会「町内」 議長
13日 女性農業委員登用促進に向けた要請対応「町長室」 議長
西和賀町政策研究会「議員会議室」 議員全員、事務局
岩手中部広域クリーンセンター見学「北上市」 議員11人、事務局
14日 社会福祉法人潤沢会新年交賀会「町内」 議長
17日 きらめく女性のつどい「町内」 議長
18日 北上プライウッド株式会社見学「北上市」 議員10人、事務局
北上地区建設産業団体合同新年交賀会「北上市」 議長
20日 西和賀町社会福祉大会「町内」 議長
にしわが・きたかみ味めぐりフェスタ「盛岡市」 議長
21日 森林エネルギーで切り開く西和賀町の未来推進シンポジウム「町内」 議長、産建常任委員長
26日 岩手県町村議会議長会事務局長会「盛岡市」 局長
西和賀商工会新春交賀会「町内」 議長、議運委員長、総教・産建常任委員長
30日 ほっとゆだ2016北日本雪合戦大会「町内」～31日 議長
2月2日 株式会社エステック株主連絡会新年会「町内」 議長、産建常任委員長
5日 北方領土返還要求岩手県大会「滝沢市」 議長
7日 湯田カップジュニアGSスキー大会「町内」 議長
12日 JR東日本に対する要望「盛岡市」 議長
19日 議会全員協議会「議員会議室」 議員全員、事務局
第6回西和賀町議会臨時会「議場」 議員全員、局長
岩手県町村議会議長会定期総会・県南地区議長会事務局長会議「盛岡市」 議長、局長
25日 森林組合通常総代会「町内」 議長
27日 第22回沢内クロスカントリースキー大会・第16回マスターズ大会「町内」～28日 議長
3日1日 西和賀高校卒業証書授与式「町内」 議長ほか

議会内部の会議は省略しています。また、行事名も一部省略しています。

議長交際費をお知らせします

（平成27年12月16日～平成28年3月3日までの内訳）

お祝い	2件	8000円
会費	6件	2万5000円
お悔み（花輪なども含みます）	1件	2万円

御意見と御感想をお待ちしています

西和賀町議会だよりでは、「読みやすく、わかりやすい議会広報」を目指して編集に取り組んでいますが、皆さんからのご意見やご感想に耳を傾けながら、よりよい議会広報づくりに心がけていきます。

電話は85-3416・FAXは81-2008です。

紙上クイズ スミからスミまで

空欄に適切なことばをいれてご応募ください。
当選者（3人）には豪華景品を差し上げます!!

問題文

1．西和賀高校卓球部が目指しているものは県大会ベスト○○です。（数字2ケタ）
2．西和賀町の一般会計歳出予算は○○億7600万円です。（数字2ケタ）
3．西和賀町議会は議会広報コンクールで○○を受賞しました。（漢字2文字）

前回号の答え 1．12　2．雫石　3．生徒

【応募方法】
はがきやFAXで、答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、連絡先をご記入ください。また、議会に対するご要望、ご意見などがありましたら、あわせてご記入ください。なお、匿名での受付はしません。

【応 募 先】
〒029-5692
西和賀町議会事務局「議会だより紙上クイズ」係まで、FAXの場合は0197-81-2008まで

【締め切り】 5月20日消印有効とします。

【発　　表】
次回号で当選者（特に断りが無い限り、氏名と地域）を発表します。

【No.41の当選者の発表】
石川紀子様（東大野）、藤原洋子様（若畑）
米澤チヨ子様（泉沢）おめでとうございます。

広報編集常任委員会の活動

議会だよりが議会広報コンクールで特選を受賞

喜びを噛み締める深澤議長（左）と淀川広報編集常任委員長（中）

特選に入賞した西和賀町議会だより（No39平成27年8月5日号）

先ごろ、岩手県町村議会議長会主催の広報コンクールが行われました。コンクールは、議会だよりの紙面内容の充実や編集技術の向上を図ることを目的に毎年実施されています。

西和賀町議会でも技術向上や町民に分かりやすい広報紙を目指し、その一助としてコンクールに応募しています。

その結果、県コンクールにおいて初の特選を受賞しました。

淀川豊広報編集常任委員長は「町民をはじめ、たくさんの方々から感想や助言をもらい受賞できた。これからも、手に取ってもらえる議会だよりを心がけていきたい。」と受賞の喜びを話していました。

平成27年度（第34回）岩手県町村議会議長会広報コンクール入賞議会

特　選	西和賀町議会だより
入選（1席）	議会だよりかねがさき
入選（2席）	やはば議会だより
入選（3席）	かるまい議会だより

自治功労表彰

本議会から、2人が受賞しました

深澤議長から表彰状を伝達される柳沢安雄議員

３月４日本会議終了後、沢内庁舎議場で全国町村議会議長会表彰と岩手県町村議会議長会表彰議員の受賞報告を行いました。

この表彰は長年の地方自治の発展に尽くした功績が認められたことから授与されるもので、全国表彰は議員を４期努めたものが、県は３期努めたものが対象になります。

本町では、全国表彰で柳沢安雄議員が受賞し、岩手県表彰では深澤重勝議会議長の２名が受賞しました。

西和賀町議会町政調査会の活動

今後のごみ処理に期待します

平成27年10月に完成された岩手中部クリーンセンター

平成28年１月13日に、西和賀町議会町政調査会（会長　髙橋雅一議員）は、平成27年10月から町の一般廃棄物処理を行っている北上市後藤野に建設された岩手中部クリーンセンターの視察を行いました。

この施設は、西和賀町・北上市・花巻市・遠野市で構成される岩手中部広域行政組合で建設された施設で、概要は燃焼技術を高め、有害物質、粉じんや臭いも極力外に出さず、また、処理の工程で発生した熱を発電に回すなど環境に配慮したものとなっています。

議員らは、周辺環境への配慮や廃熱を電力に変える発想は素晴らしいと熱心に説明を聞きました。

みなさんと議会を結ぶ
西和賀町 議会だより
No.42

夢をつかめ!! にしわがっ児 Vol.28

西和賀高等学校卓球部

本コーナーは小中高生のクラブ活動などを紹介していきます

西和賀高校卓球部は現在、３年生男子５人女子２人、２年生男子２人で日々練習に励んでいます。
昨年は、高総体県大会で男子団体は初戦で力尽きましたが、女子団体は初戦を突破しました。
日々、多彩なメニューに取り組みながら、今年の大会に向け、力をつけています。

部員一丸となって、今年の各種大会に臨みます

部長
菊池祐希（きくちゆうき）さん
（3年・江釣子中出身）

中学1年から卓球をはじめ、公式非公式を問わず大会に参加し、腕を磨いています。
サーブが苦手なので、相手に打たれないサーブを打つことを中心に練習しています。
昨年は、県大会や新人戦で初戦を突破することができませんでしたが、今年は、全試合、部員全員で初戦を突破することを目標としています。

キャプテン
蛭坂甚哉（ひるさかじんや）さん
（3年・新町）

卓球を中学からはじめ、日々練習や大会に参加し、研鑽しています。
昨年の大会では、相手にボールを打ち返されたときに防ぐことができなかったので、今はブロックに力を入れ、練習しています。
自分自身の目標は、自分の力を出しきって1勝でも多く勝ち取りたいと思っています。また、部としては、全部員一丸となって県大会ベスト16に行きたいと思っています。

議会からお知らせです

住民の声を聴く会の開催を要望する場合はお知らせ下さい

日頃、町や議会に対し、疑問に思っていること、困っていること、こんな風にしたらもっと町が良くなるのでは？などございませんか。
私たち議会議員は、町が抱える問題の糸口を見つけ、解決のお手伝いをすることも皆さんから課せられた責務のひとつです。
団体、組織を問わず、私たちと自由に意見交換をしてみませんか。
詳しくは、西和賀町議会事務局にお問い合わせください。

平成27年12月16日に行われた西和賀町の障がい者支援団体との意見交換会

お問い合わせは
西和賀町議会事務局
電 話　0197－85－3416（直通）
FAX　0197－81－2008（直通）
電子メール gikai@town.nishiwaga.lg.jp

暫時休憩（ざんじきゅうけい）

皆様いかがお過ごしでしょうか。
私は晴れた日の山々に感動する毎日です。
深澤晟雄さんのキーワードの一つに「一体態勢」があります。それは一人一人がやらなければならないという責任の自覚こそ必要であり、その責任の集計が即ち「一体態勢」ということであります。まさに今、私達に求められているのが「一体態勢」であります。
「幸せの近道は一体態勢であり、それは一人一人の責任の自覚だ」それを再確認したいと思います。

広報編集常任委員会
委員　佐々木　孝　道

【議会だよりは広報編集常任委員会で編集しています】

委員長　淀川　豊
副委員長　髙橋　和子
委　員　深澤　重勝
〃　佐々木孝道
〃　髙橋　到

発行日／平成28年4月25日・年4回発行
編集／岩手県・西和賀町議会広報編集常任委員会
印刷／鶴田印刷株式会社・横手市
発行人／岩手県・西和賀町議会広報編集常任委員会　委員長　淀川　豊
〒029-6902　岩手県和賀郡西和賀町沢内字太田2地割81番地1
西和賀町（沢内庁舎）TEL0197(85)3416 FAX0197(81)2008

VEGETABLE OIL INK